

第2回 多糖の未来シンポジウム「多糖の資源活用と機能探求に向けて」

主催: 日本化学会、日本応用糖質科学会、セルロース学会、日本キチン・キトサン学会、
シクロデキストリン学会、名古屋大学

共催: 日本生物工学会中部支部ほか

日時: 平成19年11月2日(金) 13:00~19:00

会場: 名古屋大学野依記念学術交流館

趣旨(要約):

多糖は人類存続にとって必須の生活資源である。地球規模でのバイオマス資源としての多糖をいかに活用するか、また多糖に期待できる多様な機能をいかに探求していくかにとくに焦点を当てて、学術と産業における活動を進めている。このような多糖の資源活用と機能探求は、持続可能資源、バイオマス、グリーンケミストリー、生分解性ポリマー、バイオプロセス、バイオケミカルズ、さらには食と健康などの我が国において現在進行中の戦略に立脚するとともに、これらを含めて多糖の未来を見据える戦略である。

プログラム: “材料・医療・食糧としての多糖の魅力”

・ 開会挨拶

1. 中坪文明(京都大学大学院農学研究科教授)

「セルロースの高機能化戦略」13:10-13:45(座長: 鶴谷良一)

2. 鶴見 隆(東京農工大学大学院技術経営研究科教授)

「旭化成メディカル株式会社におけるウイルス除去フィルターの開発と工業化」13:45-14:20(座長: 小宮山真)

3. 伊藤耕三(東京大学大学院先端領域研究科教授)

「スライドラグ(環動)ゲル: シクロデキストリンの高機能材料化」14:20-14:55(座長: 久松 真)

(休憩 14:55-15:15)

4. 佐藤ちひろ(名古屋大学生物機能開発利用研究センター准教授)

「ポリシアル酸の生物機能探求」15:15-15:50(座長: 中久喜輝夫)

5. 山本 理(生化学工業株式会社中央研究所合成研究室長)

「ヒアルロン酸の医療展開」15:55-16:30(座長: 正田晋一郎)

6. 大坪研一((独)農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所 食品素材科学研究領域長)

「食糧としての多糖の戦略」16:30-17:05(座長: 近藤哲男)

・ 閉会挨拶

・ 懇親会 ユニバーサルクラブ 17:30-19:00

参加費: 無料. 懇親会 3,000 円

ホームページ: <<http://www.che.tohoku.ac.jp/~poly/>>および

<<http://www.tmd.ac.jp/i-mde/www/org/jpn/index.html>>

申込方法: 氏名, 勤務先, 所属学会, E-mail アドレス, 懇親会参加有無を明記して,

E-mail: polysacc@mol.nagoya-u.ac.jp に申し込む.

参加申込締切 10 月 22 日